



MTF1 型特殊変換器 取扱説明書 E4

当社の荷重変換器を御買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。ご使用前に必ず本書を御熟読頂き正しく御活用頂きますようお願い申し上げます

本器は測定子にオイルシールを装着し、緊迫力を測定できるロードセルです。
下記、取り付けに注意して御使用下さい。

●ケーブルの接続方法

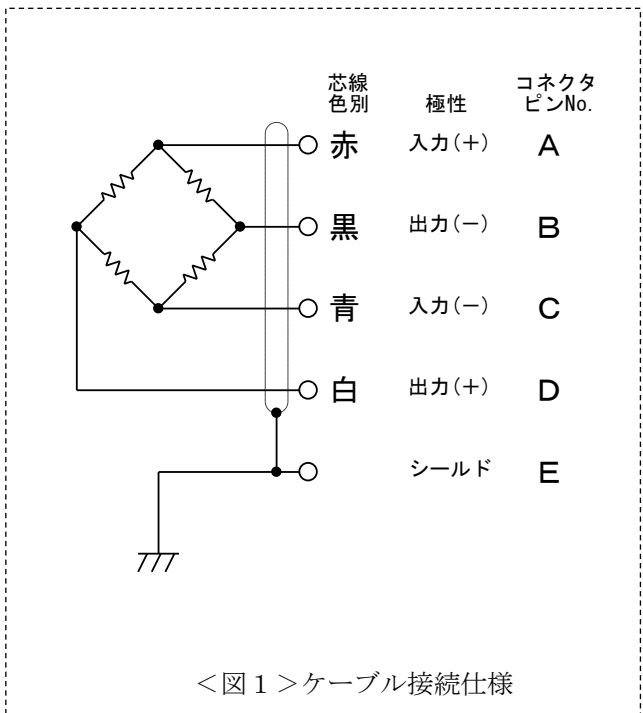
本器のケーブル接続仕様を<図1>に示します。

接続を間違えますと初期平衡度が取れなかったり荷重を負荷した場合の出力電圧に誤差を生じますので御注意下さい。

●印加電圧

許容印加電圧 (AC/DC)	15V
推奨印加電圧 (AC/DC)	10V

<表1>

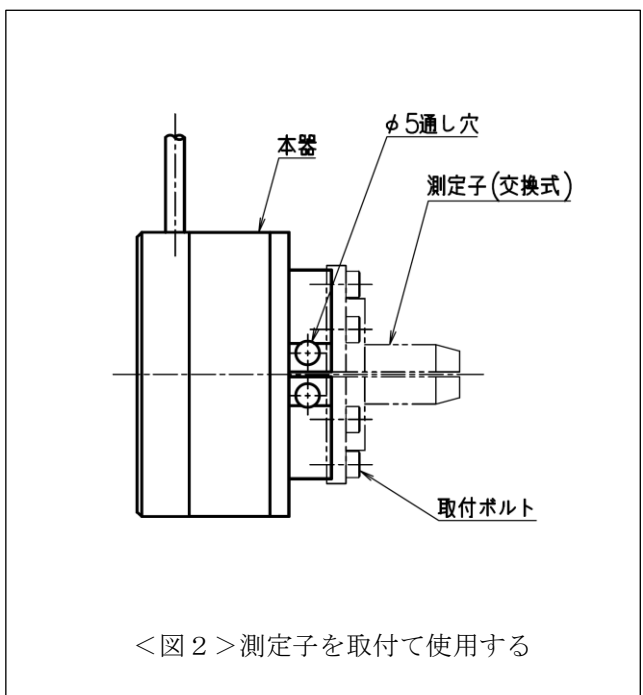


●取付方法と取付上の注意

本器は<図2>の様に本器先端に測定子を取り付け使用します。

本器の性能を発揮させるために次の点に留意して取り付けを行って下さい。

- ① 本器の軸方向と加える力の方向を一致させて下さい。
- ② 本器を設置する所は定格荷重を受けるに十分な強度のある事が必要です。
- ③ 定格荷重が加えられたとき本器が傾いたりしない事をご確認下さい。



●測定子の取付

① ロードセルを用意する



<図3>本器準備

② 測定子の取付



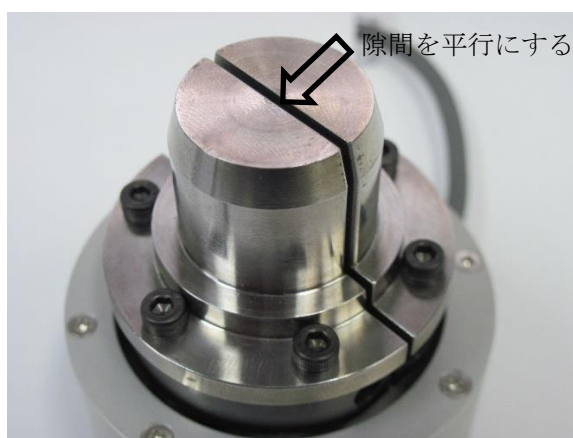
<図4>測定部に無理な力を加えない

<図4>の様に本器測定部に設けられているφ5通し穴にドライバー等を挿入し手で押さえて、測定部に無理な力が加わらないように注意し測定子の取付ボルトを締め付けて下さい。

※推奨締め付トルク：100 N・cm

次に、同様の手順で残りの測定子をセットして下さい。

このとき、測定子同士の隙間は平行<図5>になる様に注意して取り付けて下さい。



<図5>測定子の隙間は平行にする

測定子を取り外す場合は上記の逆の手順で行って下さい。

※1. 治具取付手順など、詳しい説明が必要な方は弊社営業所まで御連絡下さい。

●使用環境と使用上の注意

1. 本器は防水構造ではありません。湿気や水のかかる場所で使用しないで下さい。
2. 断線するおそれがありますので、ケーブルを強く引っ張ったり、ケーブル出口付近で曲げたりしないで下さい。
また、ケーブルが動く場合は固定をして下さい。
3. 温度補償範囲は
0 ~ 60℃ です。
4. 本器の接続ラインは誤動作を防止するため、ノイズの多いラインやACラインからの影響を受けないようにして下さい。

●保守について

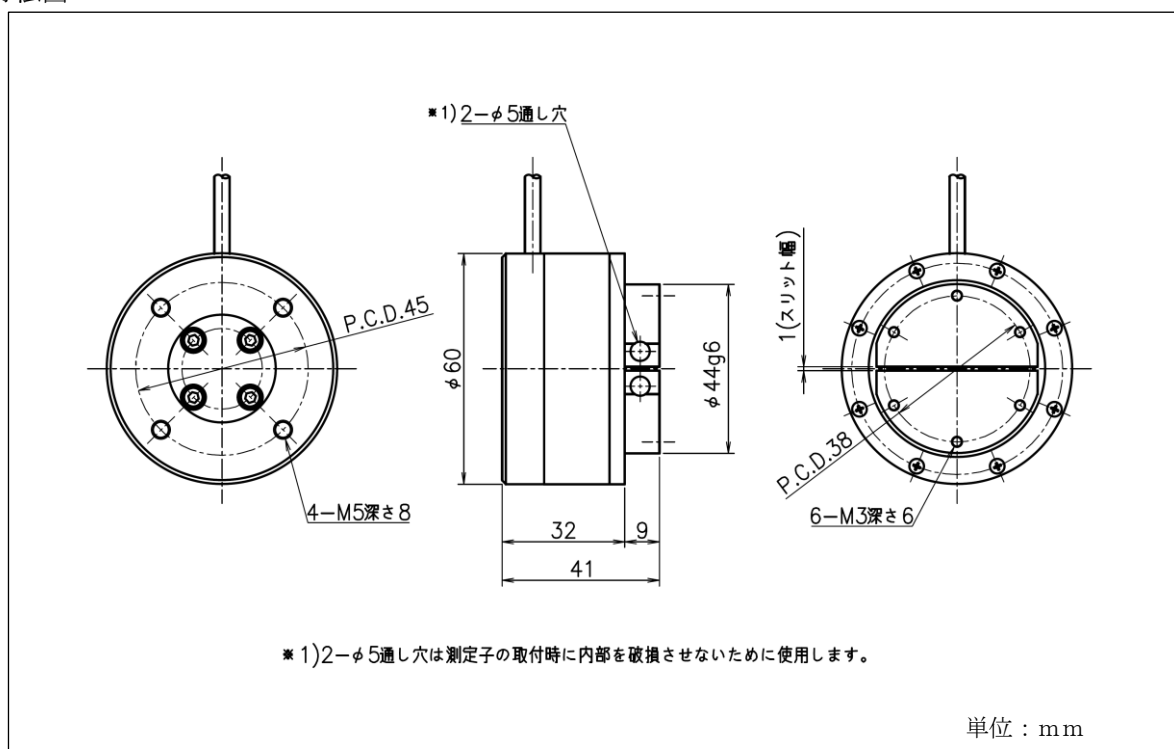
本器の品質を維持されるために、年に一回の定期点検・校正（共に有償）を御受けされる事を御奨めします。

●保証について

本器は御買い上げ後、一年間の品質保証を行っています。正規の御使用（保証期間中）におきまして万一故障・欠陥等が発生しました場合は無償にて修理を致します。その場合には弊社営業所または御購入頂きました販売店まで御連絡を頂き、故障状況を御説明なされた上で現品を御送付して下さい。但し、お客様での誤使用・分解改造等の正規の御使用以外での場合は原則的に有償とさせていただきます。

また、許容範囲以外の負荷（荷重・モーメント）や電圧がかかり本来の機能が復元しない場合は修理不能の場合もございますので予め御承知おき下さい。

●寸法図



仕様

TYPE	MTF1 型特殊変換器
定格容量	100 N ~ 300 N
許容過負荷	150 % (定格容量に対し)
限界過負荷	200 % (定格容量に対し)
定格出力	1.0 mV/V (公称)
直線性	0.1 %R.O.
ヒステリシス	0.1 %R.O.
繰り返し性	0.05 %R.O.
許容印加電圧	15V, 推奨 10V 以下
入力抵抗	350 Ω
出力抵抗	350 Ω
温度補償範囲	0 ~ 60 °C
許容温度範囲	-20 ~ 80 °C
零点の温度特性	0.02 %R.O./°C
出力の温度特性	0.02 %/°C
ケーブル	φ 4 mm, 4 芯シールドケーブル, 2 m
先端コネクタ	PRC03-12A10-7M
その他	

株式会社 昭和測器

本 社	121-0812 東京都足立区西保木間 1-17-16	TEL 03-3850-5431	FAX 03-3850-5436
工 場	121-0064 東京都足立区保木間 5-24-27	TEL 03-3858-3241	FAX 03-3859-1240
京都営業所	602-8031 京都府京都市上京区東裏辻町 403-3	TEL 075-256-8757	FAX 075-256-8758

2018年10月 第1版 発行

2022年 6月 第2版 発行